

知的障害のある児童を対象とする
言語の形成と活用を目的とした教材
「おたすけ さいコロン」

発表番号 15

専攻科

207V9902 一瀬 克弥



本日の発表の流れ

I 対象とする児童の実態

II 教材開発の目的

III 教材について

IV 教材の実演

V 教材作成の手順

VI 参考文献



I 対象とする児童の実態

○A児 小学校の1年生 特別支援学級在籍

- 知的障害（軽度から中度）

- ・ 語彙が少なく、特定の話題を好んで話す。
- ・ 友達や教師の質問に適切に答えることが苦手である。
- ・ 自分が困ったときに、言葉で支援を求めることが苦手である。

- 自閉スペクトラム症/自閉症スペクトラム障害

- ・ 活動の見通しがもてないと落ち着かない。
- ・ 状況に合わない、不適切な発言をする。

- 発達性協調運動障害

- ・ 投げられたボールをキャッチするのが苦手である。
- ・ 文字や数字をノートの枠内におさめて書くのが苦手である。



Ⅱ 教材開発の目的

○知的障害の言語・コミュニケーションにおける困難さ

- ①言語における表現
- ②身振り手振りを含む非言語的な表現力
- ③言語的・非言語的表現を受け止め、理解する力
- ④文章を読んで理解する力
- ⑤文章を書く等の言語・コミュニケーション全般における困難さ

Ⅱ 教材開発の目的

○学習指導要領での位置づけ

6 コミュニケーション

(3)言語の形成と活用に関すること

①この項目について

「コミュニケーションを通して、**事物や現象、自己の行動等に対応した言語の概念の形成を図り、体系的な言語を身に付けることができるようにすること**」を意味している。



Ⅱ 教材開発の目的

○学習指導要領での位置づけ

6 コミュニケーション

(3) 言語の形成と活用に関すること

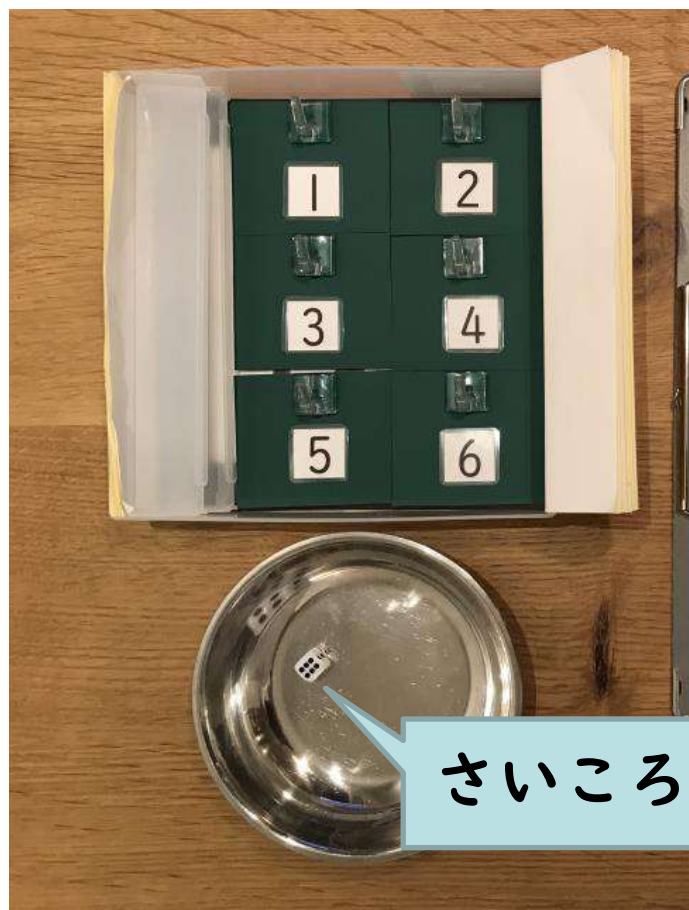
② 具体的指導内容と留意点

「言語発達に遅れのある幼児児童生徒の場合、**語彙が少ないために自分の考えや気持ちを的確に言葉にできないことや相手の質問に的確に答えられないことなどがある。**そこで、**児童生徒の興味・関心に応じた教材を活用し、語彙を増やしたり、言葉のやりとりを楽しんだりする必要がある。**」



Ⅲ 教材について

○教材の名前「おたすけ さいコロ」



【やり方】

- ①サイコロを振り、カードをめくる。
- ②カードの下に書かれた文字予想する。
- ③分かったら、言葉で伝える。



Ⅲ 教材について

○単元目標

カードをめくって平仮名を予測する活動を通して、
自分の思いや考えを伝える機会が増える。



SST (ソーシャルスキルトレーニング) の活用

○SSTとは？

「社会の中で他人と関わり共に生活していくための
能力を訓練すること」



Ⅲ 教材について



わかりません。
もう1回やっていいですか？

言って
見せる

やって
みせる

させる
(リハーサル)

ほめる
なおす

定着
させる

小貫悟他 (2004) 『LD・ADHDのソーシャルスキルトレーニング』
日本文化科学社 より表を作成



言って
見せる

やって
みせる

こんなとき、どうする？

○ | まいめくったけれど まだ わからない。
どうする。



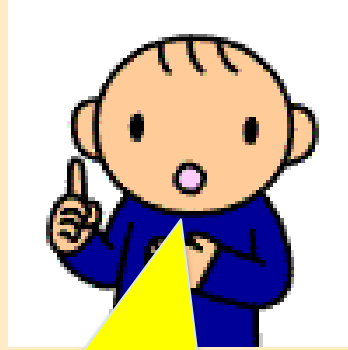
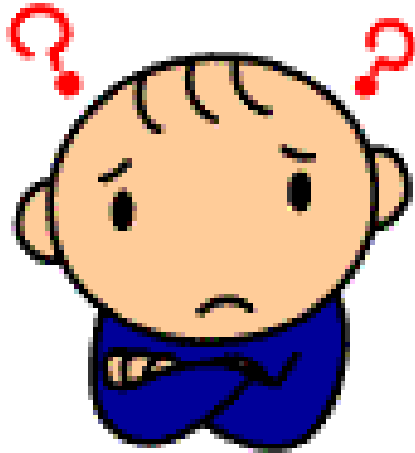
言って
見せる

やって
みせる

こんなとき、どうする？

○ | まいめくったけれど まだ わからない。

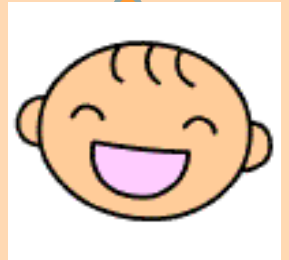
わからない



わかりません

もう | かい
やっていいですか

わかった
やったあ

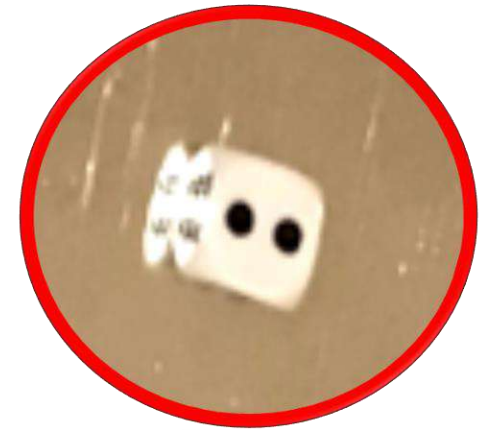


言って
見せる

やって
みせる

こんなとき、どうする？

○また 2が でてしまった。 どうする。



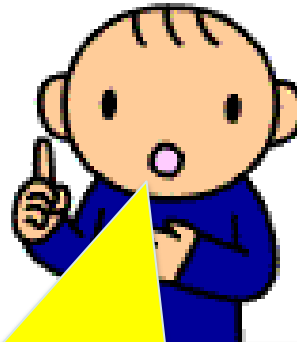
言って
見せる

やって
みせる

こんなとき、どうする？

○ 1まいめくったけれど まだ わからない。

こまったな



もう1かい
やっていいですか

わかった
やったあ



Ⅲ 教材について

○評価について

【目標】 カードをめくって平仮名を予測する活動を通して、
自分の思いや考えを伝える機会が増える。



【評価A】

- ・自分から、一つの問題に対して1回以上自分の思いや考えを伝えることができる。

【評価B】

- ・ヒントカードを見て、一つの問題に対して1回は自分の思いや考えを伝えることができる。

【評価C】

- ・教師のモデリングやヒントカードを見て、一つの問題に対して教師と一緒に自分の思いや考えを伝えることができる。



させる

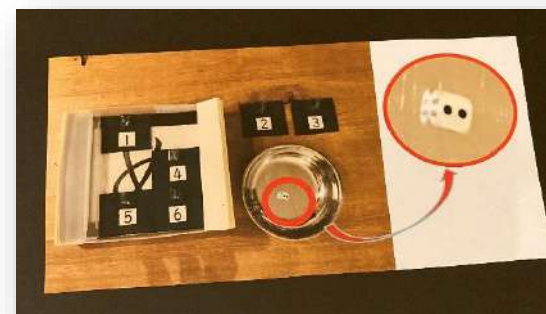
(リハーサル)

IV 実演

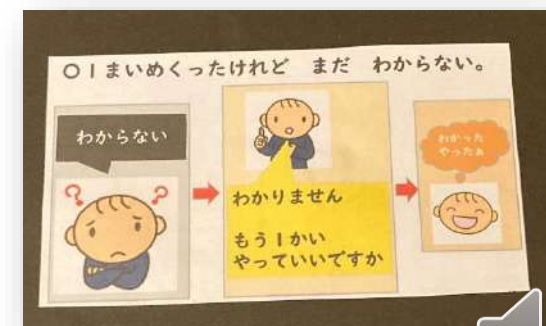


※実演している児童は、対象児童の実態とは異なります

ヒントカード



ひっくり返すと

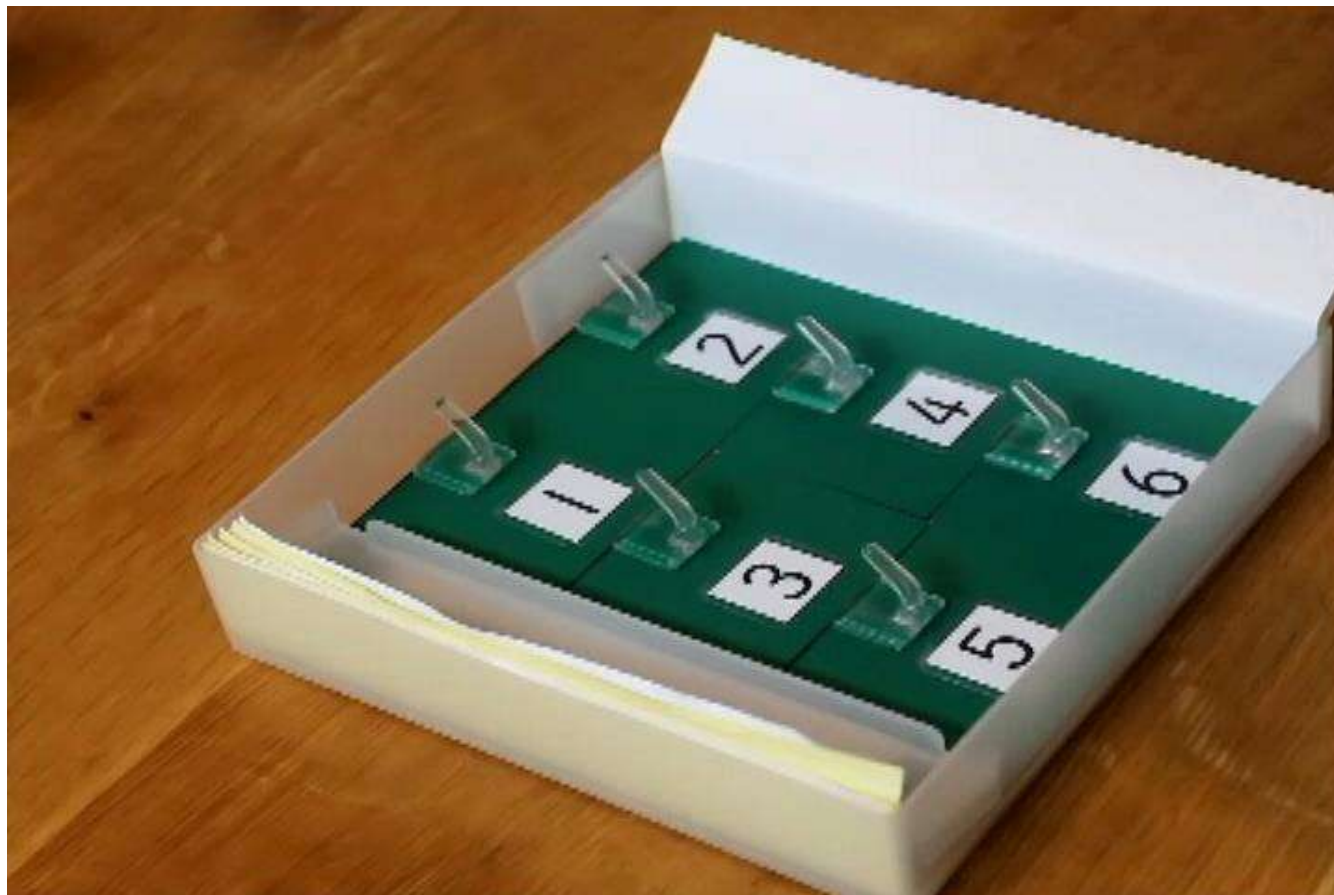


させる

(リハーサル)

IV 実演

問題を変えるとき



IV 実演

言葉のやりとりの中で...

こまったな

1ばんが
わかると
いいなあ

やったあ！

つぎはもっと
おもしろいもの
をやりたい
です

こたえを
かいても
いいですか？

あと1つ
やりたい
です

表現

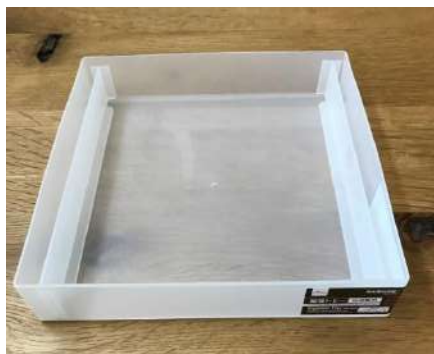


質問
要求



V 教材作成の手順

○必要な材料



トレイ (20cm×20cm)



カッティングマット



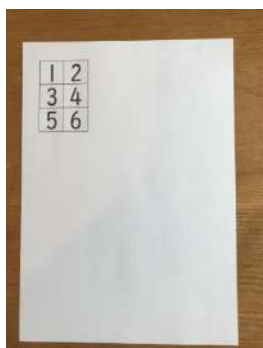
フック



サイコロ



皿



番号カード



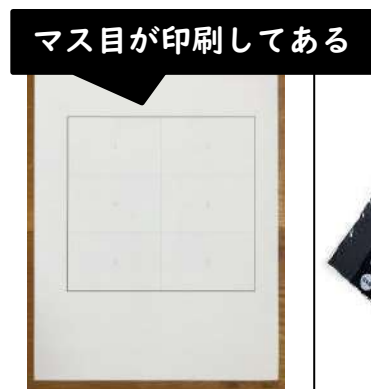
ラミネートフィルム



問題用紙 (A4横)



カラー用紙 (A4)



A4の紙 1枚



黒の画用紙

V 教材作成の手順

○必要な道具や文房具



はさみ



テープ



のり

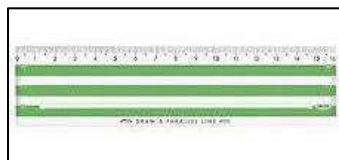


バインダー



カッター

大きいものの方が使
いやすいです。



ものさし



ラミネーター



ホワイトボードマーカー
とイレーザ

V 教材作成の手順 (1) カuttingマットの加工

① Cuttingマットを切る。



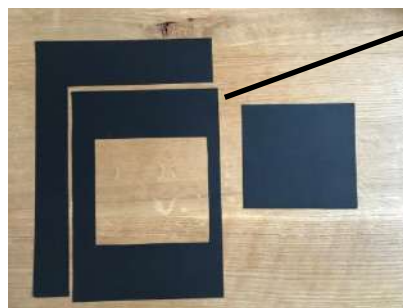
② Cuttingマットを裏返し、フックを貼る。

③ Cuttingマットに、ラミネートした数字カードを貼る。



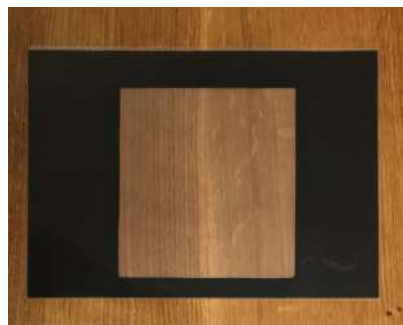
V 教材作成の手順 (2) 問題用紙の枠を作る

①黒の画用紙を切る。



A4の大きさに
切ります。

②マスがあるA4の紙を
ラミネートする。



③黒の画用紙をラミネートし、枠に合
わせて、逆コの字型に切る。



V 教材作成の手順（3）問題用紙の作成

①問題をダウンロードする。

検索エンジンで「読み書き障害
パワーポイント」と検索



img	ファイルフォルダー
カタカナ	ファイルフォルダー
ひらがな	ファイルフォルダー
ひらがな・カタカナ共通	ファイルフォルダー
数字	ファイルフォルダー
説明書	ファイルフォルダー
第1学年	ファイルフォルダー
第2学年	ファイルフォルダー
第3学年	ファイルフォルダー
第4学年	ファイルフォルダー
第5学年	ファイルフォルダー
第6学年	ファイルフォルダー
ppt_menu	HTML ファイル

文字のスライドのダウンロード

こちらの ZIP フォルダ (約 146 MB) から、以下のファイルをまとめてダウンロードできます。

- ・ 小学校で学習する文字の全てのスライド (1,182 字)
- ・ 文字のスライドの仕様書 (どのようにスライドが作られているか説明しています)
- ・ 文字のスライドの基本的な加工方法 (PowerPoint 2003 対応)
- ・ 文字のスライドの基本的な加工方法 (PowerPoint 2007 対応) ※ PowerPoint 2016、PowerPoint 2013、PowerPoint 2010 をお使いの方はこちらを参照してください。
- ・ 文字一覧表

お使いのパソコンにダウンロードして、右クリックなどで zip フォルダを展開して、ppt_menu.html を開き、必要な文字のスライドや説明書にアクセスしてください。
学年ごとなどまとめて文字のスライドを使用したい場合は、展開した zip フォルダ内の各フォルダをコピーするなどして、使用してください。

左のZIPフォルダをダウンロードすると、上のよう
なファイルが表示されます。



V 教材作成の手順（４）作ったものをセットする

①問題用紙と黄色の紙を交互に重ねて折り、トレイにセットする。その上から逆コの字の枠を置く。



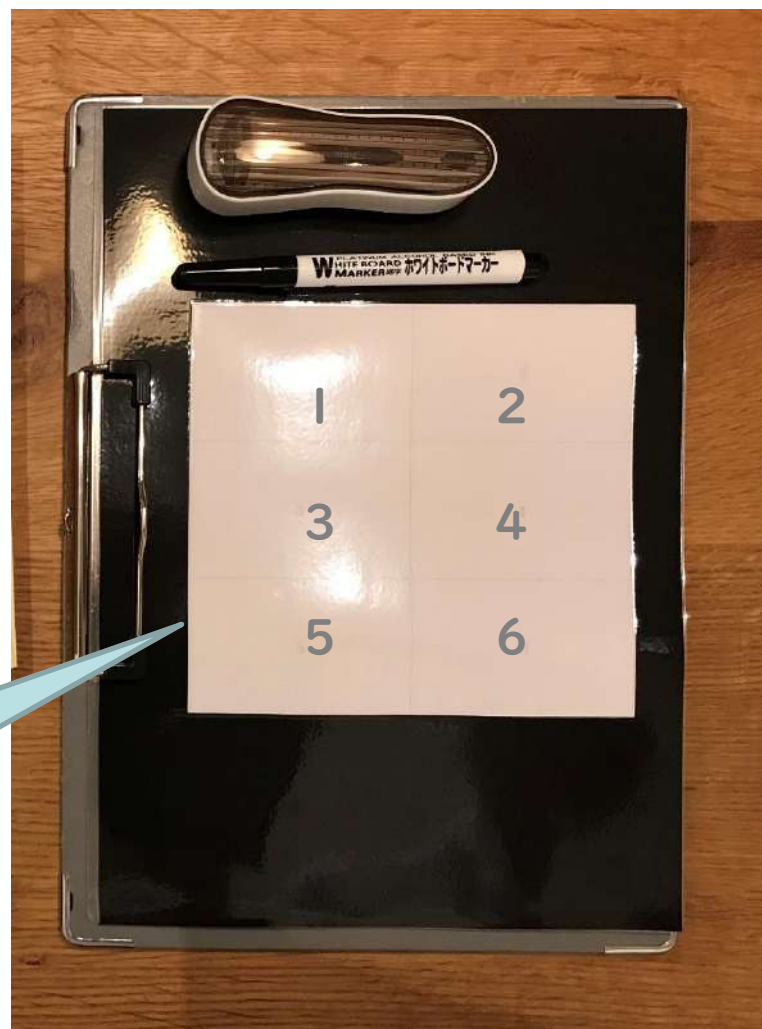
②カッティングマットを置いたら準備がOKです！



V 教材作成の手順 発展的な教材 ~答えを書く~

教材の発展的な活用として、ラミネートした紙に答えを書くというやり方もあると思います。

白と黒の境目は段差ができるように、くり抜いた黒い枠に下から白い紙を貼ってあります。



VI 参考文献

『知的障害教育総論』（放送大学振興会 2015年）



『LD・ADHDのソーシャルスキルトレーニング』
（日本文化科学社 2004年）

『学習レディネス指導シリーズ
読みを育てる③』（コレール社 1993年）



『長所活用型指導で子どもが変わる〈Part2〉』
（図書文化 2000年）

